

第34回

夕張川流域会議

魚類など生息・生育環境の場の保全、移動の連続性の確保をフォローアップ

- ◎日時：平成29年11月27日（月）13：30～16：00
- ◎場所：南幌町ふるさと物産館「ビューロー」会議室
- ◎出席：有識者、NPO等活動団体、利水者、自治体、江別河川事務所、夕張川ダム総合管理事務所



夕張川魚がのぼりやすい川づくりの経緯

- 平成15年5月 夕張川流域会議設立
- 平成17年4月 夕張川河川整備計画策定
- 平成22年3月 清幌床止め魚道改良
- 平成26年3月 夕張川中流域魚がのぼり川づくり（計画）作成
- 平成27年3月 夕張川河川整備計画変更
栗沢頭首工の魚道完成
夕張シューパロダム完成
- 平成27年9月 栗沢頭首工上流でシロサケ等遡上を確認

流域会議事務局から、河道内樹林化対策の状況と魚類調査の結果、夕張シューパロダムの運用実績と次年度の予定について報告がありました。札幌建設管理部からは、雨煙別川のかわづくりと栗山町のまちづくりを一体的に進める「雨煙別川かわまちづくり」について情報提供がありました。

また、次年度以降も夕張川魚がのぼりやすい川づくりの取り組みとして、情報共有や相互連携、産卵環境の改善などの課題への対応や今後の展望等について会議の中で定期的に意見交換していくことを確認しました。

夕張川流域会議は、ひきつづき

「夕張川の魚がのぼりやすい川づくり」について取り組んでいきます。

詳細はホームページをご覧ください。「夕張川流域会議」で検索

「ヤツメウナギ」を食べてさわって学ぶ

石狩川やつめ文化研究会が江別第二小学校で出前講座

- ◎日時：平成29年12月1日 10：00～11：30
- ◎場所：江別市立江別第二小学校

石狩川やつめ文化研究会の協力で、江別第二小学校の3年生96名が、江別の特産品「ヤツメウナギ」の生態と特長、栄養、漁獲量の減少、江別とヤツメウナギの関わりを学習しました。児童は、ヤツメウナギに触ったり、から揚げを食べたり、楽しい学習時間を過ごしました。



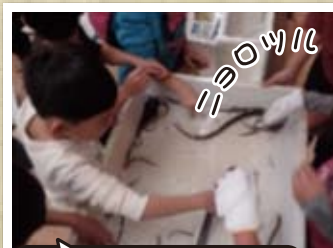
ヤツメ料理のお話をする講師



から揚げを試食 おいしい！



水そうでヤツメ観察



ヤツメをつかんでみた！



児童が観察した ヤツメウナギ

- 左：目とエラ（エラ数と目が名前から由来）
- 中：尾びれ（尾が白ならスナヤツメ）
- 右：口（魚に吸い付き体液を吸う）

第6回 幌向地区自然再生 ワークショップ開催

- ◎日時：平成29年12月19日（火）9：30～11：30
- ◎場所：南幌町ふるさと「物産館」ビューロ
- ◎出席：有識者、NPO等活動団体、研究機関、自治体、札幌開発建設部

夕張川幌向地区（南幌町）における高層湿原の再生と利活用を検討する「第6回石狩川下流幌向地区自然再生ワークショップ（座長：札幌市立大学矢部和夫教授）」が開催されました。

湿原再生の先進事例として、札幌市平岡公園における取り組み事例が発表されたほか、幌向地区における遮水整備の効果、湿生植物の導入手法と今年度の導入状況、地域活動の状況と利活用に向けた今後の課題、次年度の取り組み計画について意見交換を行いました。

詳細はホームページをご覧ください。「幌向地区自然再生」で検索



ワークショップの様子



これは面白いですねー



ミスゴケ アクアリウム

幌向湿原めぐりフットパス開催

湿原の楽しみ新発見

- ◎日時：平成29年10月22日（日）9:30～15:00
- ◎場所：夕張川栗幌橋下流右岸（南幌町）

NPOふらっと南幌が「幌向湿原めぐりフットパス」を開催し、南幌町内外からの参加者は、幌向湿原再生地を観察しながら歩く湿原巡りフットパス、ミスゴケの移植体験、俳句会、音楽家嵯峨治彦さんによる馬頭琴と喉笛を楽しみました。

なかでもお土産のミスゴケのビン詰めが好評で、参加者はみな自宅でミスゴケ栽培にチャレンジするとのこと。



お土産にもらったミスゴケのビン詰め



湿原を巡るフットパス



ミスゴケの移植体験



嵯峨さんによる馬頭琴の演奏



ミスゴケのお土産

発行：夕張川流域会議事務局

江別河川事務所：〒067-0074 江別市高砂町5 電話 011-382-2358
夕張川ダム総合管理事務所：〒068-0546 夕張市南部青葉町573 電話 0123-55-5151

夕歩道バックナンバーは、ホームページをご覧ください。「夕歩道」で検索